地理 22　中1 社会　穴埋め

アメリカの農業と工業

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿ 月 ＿＿＿＿ 日

世界の姿　日本の姿　気候と暮らし　アジア州　ヨーロッパ州　アフリカ州　**北アメリカ州**　南アメリカ州　オセアニア州

今日の問い

アメリカ合衆国は、どのようにして世界有数の農業国・工業国になったのだろう。

下線に当てはまる語句を書こう。同じ番号には同じ語句が入る。左の欄の説明もヒントにしよう。

1 適地適作と企業的な農業

農業

1 地域の気候や土に合った作物を育てること。

7 大型機械を使い、少ない人手で広い農地を経営する農業。

9 穀物を世界中で取り引きする大企業。

アメリカ合衆国では、地域の気候や土に合った作物を育てる ＿＿＿＿ (1) が行われている。五大湖の周辺では ＿＿＿＿ (2)、中西部では ＿＿＿＿ (3) や大豆、グレートプレーンズなどでは ＿＿＿＿ (4)、南部では ＿＿＿＿ (5) がつくられ、雨の少ない西部では肉牛の ＿＿＿＿ (6) がさかんである。

大型機械を使い、少ない人手で広い農地を経営する ＿＿＿＿ (7) が中心で、乾燥した地域では、くみ上げた地下水を円形にまく ＿＿＿＿ (8) も使われる。穀物は ＿＿＿＿ (9) とよばれる大企業によって世界中に輸出され、アメリカは「＿＿＿＿ (10)」とよばれる。

地域	主な農業
五大湖の周辺・中西部	＿＿＿＿ (2)・＿＿＿＿ (3)・大豆
グレートプレーンズ・南部	＿＿＿＿ (4)・＿＿＿＿ (5)
西部（雨が少ない）	肉牛の ＿＿＿＿ (6)

2 工業の発展と変化

工業

14 北緯37度より南の、温暖な地域。1970年代ごろから工業が発展した。

17 世界の多くの国に拠点をもって活動する企業。

アメリカ合衆国では、石炭や鉄鉱石を生かして ＿＿＿＿ (11) の周辺で ＿＿＿＿ (12) や ＿＿＿＿ (13) の工業が発展した。1970年代ごろからは、温暖で土地が広く、労働力も得やすい北緯37度より南の ＿＿＿＿ (14) で、航空宇宙や電子機器などの工業が発展した。

サンフランシスコの南の ＿＿＿＿ (15) には、＿＿＿＿ (16) の企業が集まっている。世界中で活動する ＿＿＿＿ (17) も多く、＿＿＿＿ (18) の暮らし方は世界に広がった。カナダやメキシコとは貿易の協定（＿＿＿＿ (19)）を結び、結びつきが強い。

アメリカの主な工業都市

五大湖の周辺のデトロイトは自動車、ピッツバーグは鉄鋼の都市として発展した。南部のヒューストンなど、サンベルトの都市では航空宇宙産業などがさかん。

できた ＿＿＿ / 19